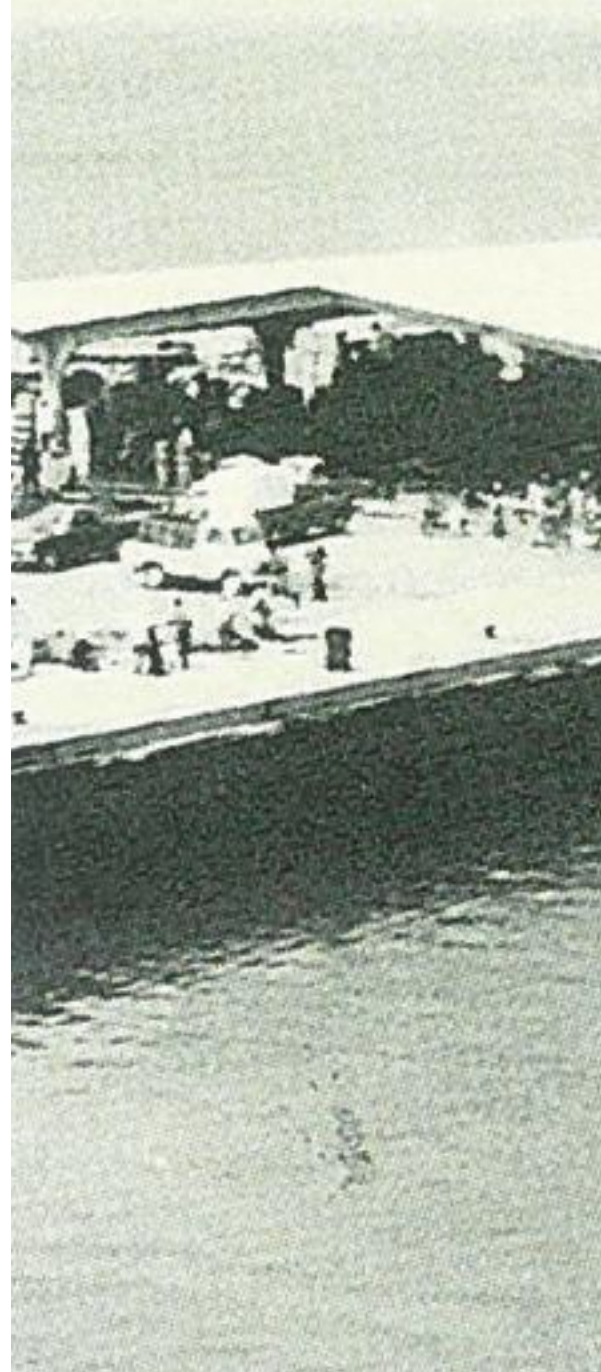


▼昭和20年頃、港には魚市場と船着場しかなかった。その後は増築が進み、倉庫や貯木場などが整備されていった。



御前崎港のあゆみ

昭和7年12月27日	駿河湾西岸漁港修築に関する建議案を宮本雄一郎代議士ら7人が提出
昭和8年3月4日	第64回帝国議会において満場一致で建議案可決
昭和11年3月4日	港湾法により地方避難港に指定
昭和26年1月19日	地方港湾に指定
昭和46年3月31日	中央埠頭1号岸壁（水深7.5m）完成
昭和46年4月1日	関税法による開港指定（県下第3番目）
昭和49年8月1日	植物防疫法による指定港となる
昭和50年4月22日	港湾法による重要港湾の指定を受ける
昭和60年1月1日	西埠頭1、2号岸壁（水深12.0m）完成
昭和63年10月1日	無線検査港に指定
平成3年11月21日	内航定期RORO船が就航
平成9年8月4日	自動車運搬船が初入港
平成15年3月31日	西埠頭10号岸壁（水深14.0m）完成
平成16年1月31日	西埠頭女岩地区国際物流ターミナル供用開始
平成16年10月31日	外航定期コンテナ船就航
令和元年8月20日	客船「はしふいっくびいなす」初寄港



①漁から戻った小舟を家族で迎え、総出で捕ってきた魚を水揚げ▶②関係者が多数参加する中、港の建設工事の開始を記念して執り行われた定礎の式▶③④港の建設に必要な材料を積んだ船舶を着岸させるため、沖合まで棧橋が建設された。工事は冬の最干潮時に行われ、丸太は砂浜で組み合わせて沖合までトロッコで運搬した▶⑤港を建設するためにロープを使い、人力で不要な石を取り除く▶⑥上空から撮影された港建設予定地▶⑦5億4,000万円の工費、延べ18万人もの労力を費やし完成した大防波堤（現在の中部電力㈱専用岸壁につながる防波堤）▶⑧港完成直後から始動し、水揚げ量の急増から施設を拡大していった魚市場



大澤 克博さん
（西側区）

砂浜でね。そこに戻ってきた漁師たちが魚を並べてるのを見てたっけ。今の港はあの頃とは比べものにならないくらい大規模になった」と振り返る。